

平成27年度 公共事業再評価調書

1. 再評価調書

(区分) **国補**・県単

事業名	急傾斜地崩壊対策事業〔急傾斜地崩壊対策事業（国補）〕			事業箇所	大月市富浜町烏沢		地区名	堀之内		事業主体	山 梨 県	
	当初計画	現計画	今回見直し予定	⑤再評価時の評価状況 なし								
計画期間	H17年～H30年	—	—									
総事業費	780百万円	—	—									
<b>(1) 事業の概要</b>												
①事業目的及び効果 堀之内地区は桂川左岸の河岸段丘からなる、延長438m、平均高さ55m、平均勾配55度のがけ斜面であり、河川流水の浸食や降雨等により斜面の崩壊を繰り返し、現在も崩壊が進んでいる状況である。 保全区域には、斜面上部の人家41戸のほかJR中央本線、市道など重要公共施設があり、また斜面下の一級河川桂川(相模川)が含まれる。 これらの人命・財産及び重要公共施設等を土砂災害から守るため、急傾斜地崩壊対策事業を実施するものである。												
②事業概要 計画延長 L=438m 現場吹付法砕工 A=15,250m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工 N=2,270本												
③現計画の全体計画（今回の再評価で変更する前の内容）												
	平成26年度まで	平成27年度 (評価実施年度)	平成28年度以降	⑥自然環境条件等の変化 なし  ⑥その他 なし								
工事内容	測量・調査・設計 用地・補償 現場吹付法砕工 A=12,800m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工 N=1,910本	現場吹付法砕工 A=950m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工 N=150本	現場吹付法砕工 A=1,500m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工 N=210本									
事業費	630百万円	60百万円	90百万円									
④特記事項 なし												
<b>(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕 (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)</b>												
①地域・住民の意向状況 なし												
②産業・経済情勢 なし												
③国等の方針変更 平成21年11月30日に土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域に指定されている。												
④上位計画・関連事業計画等の変更 なし												
<b>(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕</b>												
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業採択時計画における事業全体B/C（15年度） 未算出</li> <li>再評価時計画における事業全体B/C（27年度） 便益（B）/費用（C）=1,068百万円/495百万円=2.2 &gt; 1.0 （国土交通省費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準1.0以上）</li> </ul>												

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①これまでの計画変更等の概要 なし</p> <p>②施行済みの事業内容（（1）③「全体計画」に記載した内容と比較） 全体計画のとおり</p> <p>③進捗率（現計画に対する実績）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成17年度</td> <td>平成18年度</td> <td>平成19年度</td> <td>平成20年度</td> <td>平成21年度</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>8%</td> <td>15%</td> <td>22%</td> <td>29%</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>5%</td> <td>22%</td> <td>32%</td> <td>41%</td> <td>47%</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>44%</td> <td>51%</td> <td>58%</td> <td>65%</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>55%</td> <td>60%</td> <td>64%</td> <td>72%</td> <td>81%</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成27年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>算出方法</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>79%</td> <td>86%</td> <td>93%</td> <td>100%</td> <td>計画事業費/総事業費×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>88%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施事業費/総事業費×100</td> </tr> </table> <p>平成27の実績は見込み</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 計画のとおり進捗</p>		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	計 画	8%	15%	22%	29%	37%	実 績	5%	22%	32%	41%	47%		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計 画	44%	51%	58%	65%	72%	実 績	55%	60%	64%	72%	81%		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	算出方法	計 画	79%	86%	93%	100%	計画事業費/総事業費×100	実 績	88%				実施事業費/総事業費×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 なし</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み（計画期間について記載） 予定どおり平成30年度完了見込みである</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性（総事業費について記載） なし</p> <p>(5) 評価項目 [環境への配慮] なし</p> <p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性] なし</p> <p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">継続</span>・見直し継続・その他（ ） (理由) 近年の異常気象等により日本各地で土砂災害が発生していることから、住民の防災意識は高く、事業への期待が非常に大きいため、計画のとおり事業を継続し、平成30年度の完成を目指す。</p>
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度																																																		
計 画	8%	15%	22%	29%	37%																																																		
実 績	5%	22%	32%	41%	47%																																																		
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																		
計 画	44%	51%	58%	65%	72%																																																		
実 績	55%	60%	64%	72%	81%																																																		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	算出方法																																																		
計 画	79%	86%	93%	100%	計画事業費/総事業費×100																																																		
実 績	88%				実施事業費/総事業費×100																																																		

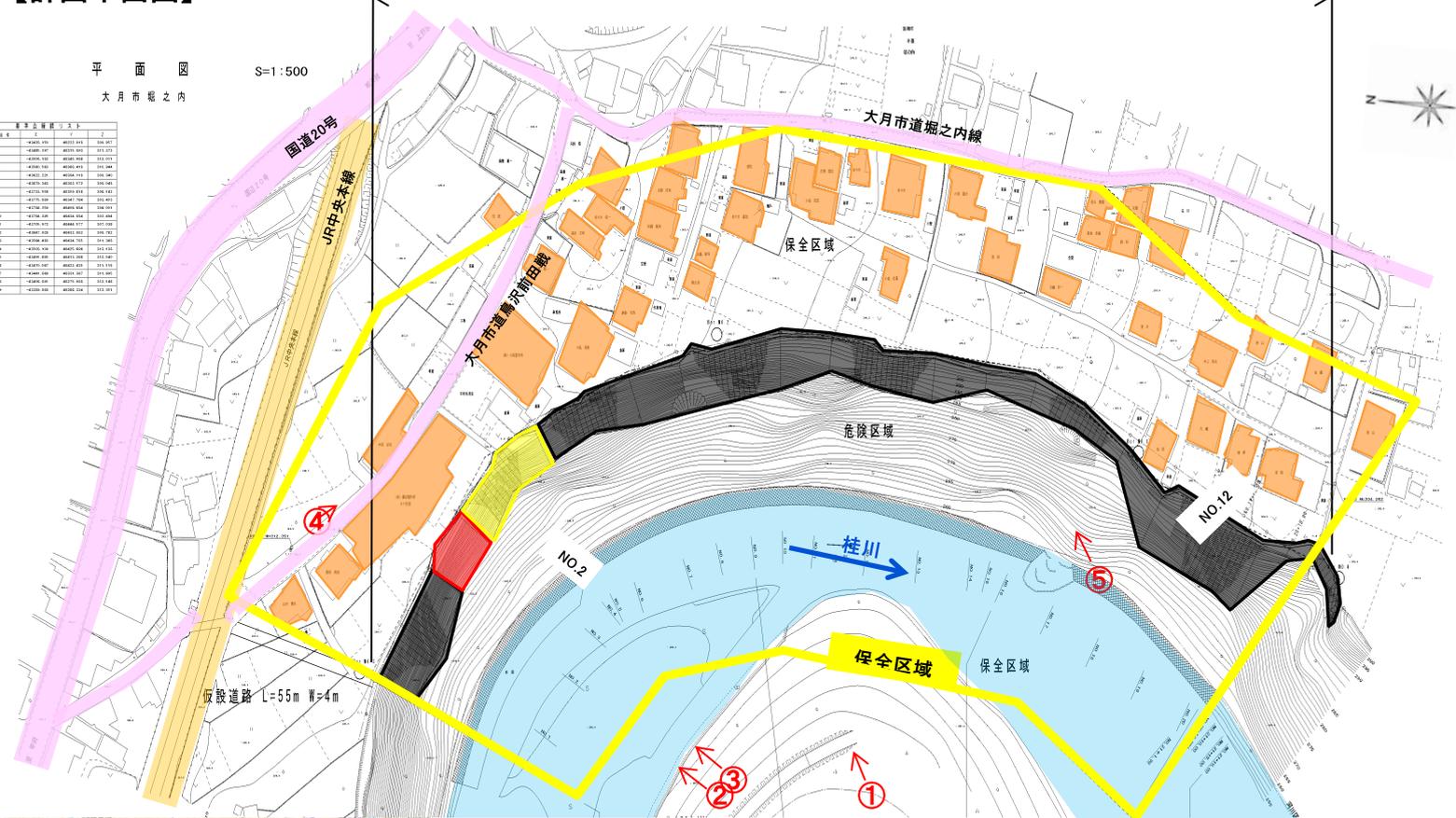
**【計画平面図】**

全体計画 延長L=438m 現場吹付法砕工 A=15,250m<sup>2</sup> 鉄筋挿入工 N=2,270

平面図  
大月市堀之内

S=1:500

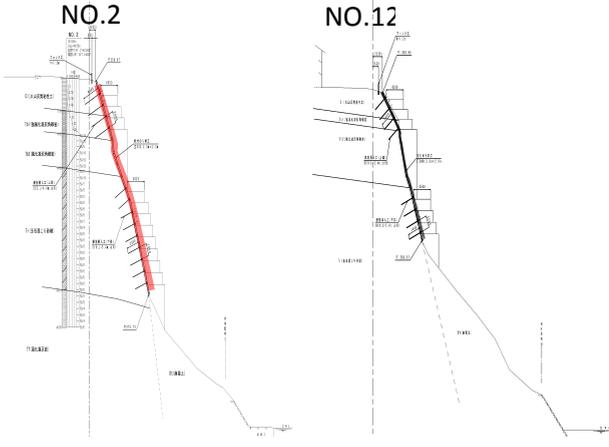
写真番号	方向	説明
1	→	保全区域
2	↖	危険区域
3	↖	危険区域
4	↖	危険区域
5	↖	危険区域
6	↖	危険区域
7	↖	危険区域
8	↖	危険区域
9	↖	危険区域
10	↖	危険区域
11	↖	危険区域
12	↖	危険区域
13	↖	危険区域
14	↖	危険区域
15	↖	危険区域
16	↖	危険区域
17	↖	危険区域
18	↖	危険区域
19	↖	危険区域
20	↖	危険区域
21	↖	危険区域
22	↖	危険区域
23	↖	危険区域
24	↖	危険区域
25	↖	危険区域
26	↖	危険区域
27	↖	危険区域
28	↖	危険区域
29	↖	危険区域
30	↖	危険区域
31	↖	危険区域
32	↖	危険区域
33	↖	危険区域
34	↖	危険区域
35	↖	危険区域
36	↖	危険区域
37	↖	危険区域
38	↖	危険区域
39	↖	危険区域
40	↖	危険区域
41	↖	危険区域
42	↖	危険区域
43	↖	危険区域
44	↖	危険区域
45	↖	危険区域
46	↖	危険区域
47	↖	危険区域
48	↖	危険区域
49	↖	危険区域
50	↖	危険区域
51	↖	危険区域
52	↖	危険区域
53	↖	危険区域
54	↖	危険区域
55	↖	危険区域
56	↖	危険区域
57	↖	危険区域
58	↖	危険区域
59	↖	危険区域
60	↖	危険区域
61	↖	危険区域
62	↖	危険区域
63	↖	危険区域
64	↖	危険区域
65	↖	危険区域
66	↖	危険区域
67	↖	危険区域
68	↖	危険区域
69	↖	危険区域
70	↖	危険区域
71	↖	危険区域
72	↖	危険区域
73	↖	危険区域
74	↖	危険区域
75	↖	危険区域
76	↖	危険区域
77	↖	危険区域
78	↖	危険区域
79	↖	危険区域
80	↖	危険区域
81	↖	危険区域
82	↖	危険区域
83	↖	危険区域
84	↖	危険区域
85	↖	危険区域
86	↖	危険区域
87	↖	危険区域
88	↖	危険区域
89	↖	危険区域
90	↖	危険区域
91	↖	危険区域
92	↖	危険区域
93	↖	危険区域
94	↖	危険区域
95	↖	危険区域
96	↖	危険区域
97	↖	危険区域
98	↖	危険区域
99	↖	危険区域
100	↖	危険区域



**【位置図】**



**【計画横断面図】**

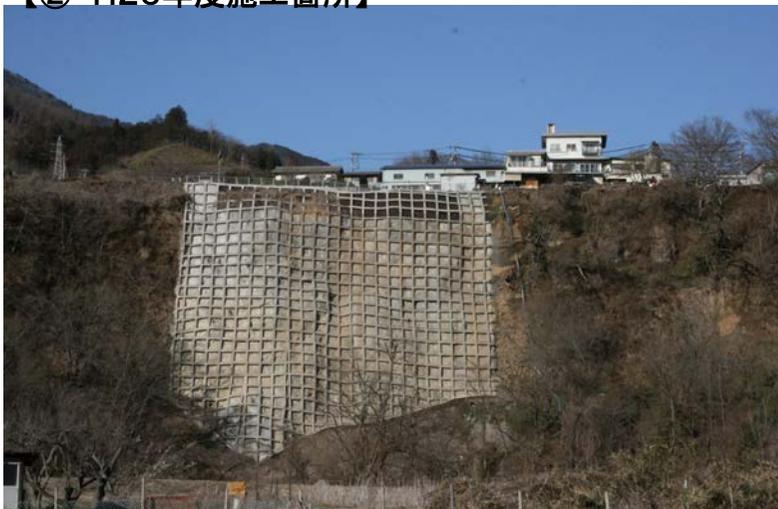


H26年度まで	
H27年度	
H28年度以降	
写真番号・方向	
保全区画	

【① 全体写真】



【② H26年度施工箇所】



【③ H27～30年度施工箇所】



【④ 保全対象:人家、市道】



【⑤ 災害発生状況】

